



第4号様式（第14条関係）

「どうなん活性化事業」実績報告書

令和 8年 4月 22日

与那国町長 殿

次のとおり、どうなん活性化事業実施しましたので、その実績を報告致します。

1. 申請団体

2. 事業の名称

Mother 株式会社

3. 事業実績

会議、勉強会、イベントなど、いつ、どこで、何人参加して事業を実施したか、活動実績を記入してください。活動写真等も別途添付ください。

月	活動・事業項目	事業実績
4月	原材料の調達	商品化に向けた準備として、長命草をはじめとする原材料の調達を進め、今後の試作に必要な基盤づくりを行いました。 【→長命草の写真を添付】
5月	試作① 商品名検討開始	試作第1回を実施し、使用感や方向性の確認を行うとともに、商品コンセプトに沿った商品名の検討を開始しました。
6月	試作②	試作第2回を実施し、前回の課題を踏まえて改良を重ねながら、品質や使用感の向上に向けた検証を進めました。
7月	試作③に向けて改良点を整理	これまでの試作結果を整理し、今後の改良方針や製品化に向けた課題を確認するための準備・検討を行いました。
8月	試作③に向けて改良点を整理	試作や商品設計に向けた検討を継続し、原料や配合の方向性、今後の進行スケジュールの整理を進めました。
9月	試作③に向けて改良点を整理	製品化に向けた準備期間として、これまでの検証内容をもとに配合や仕様の見直しを行い、最終試作に備えました。
10月	試作③ 配合決定	試作第3回を実施し、複数回の検証を踏まえて最終的な配合内容を決定し、商品化に向けた具体的な形を整えました。
11月	商品名決定	商品のコンセプトやターゲットに合わせた検討を重ね、ブランドイメージを反映した正式な商品名を決定しました。
12月	パッケージデザイン制作	商品完成に向けてパッケージデザインの制作を進め、商品の魅力や世界観が伝わる見せ方の具体化に取り組みました。
1月	商品完成	試作・配合・デザインの工程を経て商品が完成し、販売や広報に向けた次の段階へ進むための準備を整えました。
2月	PR動画作成 PRチラシ作成 与那国島内サンプル配布	PR動画およびPRチラシを制作し、与那国島内でサンプル配布を実施することで、認知拡大と反応収集を行いました。

3月	与那国以外の方へのサンプル配布	与那国島外の方々へもサンプル配布を開始し、幅広い層から意見を集めることで、今後の展開に向けた検証を進めました。4月以降もサンプル配布を継続予定です。
----	-----------------	--

4. 事業決算書

【収入の部】

(単位：円)

項目	決算額	摘要 (内訳を具体的に記入してください)
計		

【支出の部】

(単位：円)

項目	決算額	摘要 (内訳を具体的に記入してください)
謝金		
旅費	¥90,910	① サンプル配布イベントの旅費 ¥90,910(税込)
委託料		
工事費		
備品費		
使用料及び賃借料		
印刷・製本費	¥16,392	② ラベル ¥3,327(税込)×2(100本分) ③ ラベル ¥4,869(税込)×2(200本分)
通信費		
消耗品費		
その他経費	¥944,396	④ PR動画撮影費 ¥582,414(税込) ⑤和命恵ウォーター10ml ¥330(税抜)×300本 ※税込み 363円 ・和命恵オイル10ml ¥620(税抜)×300本 ※税込み 682円

		⑥長命草原材料費 ¥48,482 (税込)
計	合計金額： ¥1,051,698	

5. 次年度以降の事業計画（具体的に記入ください）

■事業の基本方針と事業内容

本事業では、与那国島の資源である長命草を活用し、日常使いできるスキンケア商品の開発・提供を行っています。

アーユルヴェーダの考え方を元に、植物の力や自然治癒の力を活かしながら、心と身体の調和を大切にした商品づくりを目指しています。

これまでにスキンケア商品の開発・試作を重ね、完成した商品についてはサンプル配布やPR活動を実施してきました。次年度も継続してサンプルやPR活動を続けていく予定です。また、今後はさらなるラインナップ拡充として、クリーム製品の開発も進めていく予定です。

■収入・支出計画

収入面では、オンラインストアや実店舗での販売、今後の催事出店などを通じて売上の確保を図ります。

また、PR活動を通じて認知拡大を進め、継続的な購入につながる顧客基盤の構築を目指します。

支出面では、主に原材料の調達費、パッケージ制作費、初回製造費、PR関連費用（チラシ制作等）を見込んでいます。

今後のクリーム開発においても、原料費の増加を想定しています。

■事業継続にあたっての課題

事業継続における主な課題は、原材料の安定的な調達です。特に不足している与那国島産の長命草を使用するため、供給体制の確保が重要となります。

また、今回のスキンケア商品は、既存のスキンケア商品と比較して2倍以上の価格帯となる見込みです。そのため、価格に見合う価値を伝え、継続的に使用していただくためには、商品の機能性だけでなく、生産者や産地の想い、背景にあるストーリーを丁寧に発信していく必要があります。